

謹賀新年



第一小学校でわら細工教室
お正月のしめ縄づくり

Touhoku

2006
1月号

広報

とうほく

広報とうほく No.9

今月の主な内容

- 町長新年挨拶2~3
- 議長・教育長新年挨拶4~5
- 町の花・木・鳥、町民の歌制定6~7
- 町の話8~15
- 健康家族16~17
- 保育園(所)入所案内18
- お知らせ19~20
- 申告相談のお知らせ21~23
- お知らせ24~26
- 戸籍の窓27
- わが家のアイドル28

◎住民総参加のまちづくり

「地域ミニ計画」については、上北地区では合併前に策定しておりましたが、関係者のご協力により合併後、新たに東北地区でも策定していただくことができました。

計画は、四百九十五件にのぼり、行事や環境整備など各地区それぞれに特色がみられました。

町では、この計画を活かし、「行政主導」から「住民主導」のまちづくりへと転換を図りながら、住民の声を反映した行政運営に努めて参りたいと思います。

◎無料町民バスの運行

町民の足としての町民バスはスクールバスの空き時間帯を利用し、上北地区では平成十五年度から運行しております。合併当初から要望のあった東北地区においても運行する方向で検討しており、その目途がついたことから、四月からの試運行の予定で準備を進めております。

◎上北道路

青森と八戸を結ぶ国道四十五号線三沢―天間林間（全長二十六キ）のうち、六戸町から東北町までの七・七キが「上北道路」として昨年度から事業着手となりました。

十二月には上北中学校に三村申吾知事を招いて「上北道路会議」が開かれ、上北道路について知事と生徒が道路の未来について意見交換をしております。

この道路の整備により、地域の観光や物流、医療など様々な面で新たな効果が期待されることから、この未来をつなぐ道「上北道路」の早期完成を要望して参ります。

◎東北町有機供給センター

当センターは、昨年四月に完成、資源を有効活用し、堆肥化することで全国に安全・安心な農産物を供給する礎となる施設であり、農産物のブランド化を図り、付加価値の高い野菜等の販売を強力に推進して参ります。



東北町有機供給センター全景

◎舟ヶ沢棧橋

現在の舟ヶ沢分場の棧橋は、平成六年十月に建設された木造で作業効率が悪く、老朽化も進んでおりました。

これを今年度実施設計、平成十八年度完成の計画で恒久的な幅五、長さ百、RC造にすることで、九月から三月までのシラウオ・ワカサギの漁業者が安心して荷揚げ作業ができると共に、作業効率も大幅に向上されるものと期待しております。

また、この棧橋の建設により、緊急時の対応も速やかに行えるものと考えております。

◎公共下水道事業について

平成十七年度の整備状況でございますが、上北地区では南町ほか、管路延長千五百十、整備率を十三・八%となっております。また、東北地区では、内蛇沢ほか管路延長千九百五十の整備を実施し、全体に対する整備率が二十四・二%となっております。

平成十八年度は、上北地区がJR横断と旭町、花向町地区の整備を、東北地区では表町、栄町の整備を予定しております。下水道は、水質汚濁の防止や住民の快適な生活環境を確保する上で必要不可欠な施設であり

ますが、町の下水道整備はまだ遅れている状況にあり、積極的に事業を進めて参りたいと考えております。

さて、冒頭の「花の言葉」

「自分の花を咲かせよう」…
大きな花は、大きな花なりに、
精一杯自らの花を咲かせれば良い。小さな花は、小さな花なりに、
自らの持てるものを思い切り活かして花を咲かせれば良い。ヒマワリは大輪だからといって、威張る必要はないし、スマイルは路傍につましく咲くからといって、卑屈になる必要はない。人は無理やり人真似をして滑稽な生き方をするのではない。自分の持てるものを充分に活かして生きれば良いのである。

この「自分の花を咲かせよう」という言葉は、心の中で静かに何度も反芻してみると、素直に心の中に自分の人生のイメージが限りなく広がり、生きる力が湧き上がってくるような気がします。

新しい年、平成十八年は、皆さまにとりまして、名実ともに輝かしい希望に満ちた年でありますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

輝ける新春を迎えて

自分の花を咲かせよう

「坂村真民氏詩集」より



東北町長 竹内 亮一

新年明けましておめでとうございます。

平素から行政に対する格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

松下幸之助氏の著の中に「道をひらく」があります。

自分には、自分に与えられた道がある

天与の尊い道がある

ほかの人には歩めない自分だけしか歩めない

二度とは歩めぬ、かけがえないこの道

他人の道に心をうばわれ思案にくれて

立ちすくんでいても道は、すこしもひらけない

道をひらくためには

まず歩まねばならぬ

それがたとえ

遠い道のように思えても

休まず歩む姿からは

必ず新たな道がひらけてくる

深い喜びも生まれてくる

輝ける新春を迎えて、この詩句を思い浮かべております。

また、先人の築いた、偉大な開拓精神を受け継ぎ、誇りと責任をもって、両町の地域特性、資源産業、文化を活かし、後世に誇れる、キラリと光るまち、合併してよかつたと思われる町づくりを皆さまとともに目指して参りたいと思っております。

さて、昨年の経済、財政状況を振り返りますと、国内経済は、企業の収益力が、バブル期に並ぶ水準に回復するなど、個人消費の好調さに支えられ、回復基調となっております。

日経平均株価も、五年二か月ぶりに、一万五千円台に回復、七年強に及んだデフレからの脱却期待が強まっています。

しかし、地域経済や中小企業は依然として不況感が強く、原油の高騰に端を発した原材料価格の値上げなど、不安定要素は増しております。

一方、県内経済は、総じて足踏み状態が続きました。生産活動や民間設備投資の一部に、明るさがうかがわれたものの、公共工事、住宅建設の大幅減少、個人消費の伸び悩み等から一進一退が続いています。

また、国と地方の税財政を見直す「三位一体改革」は、結局、国と地方の痛み分けという、妥協の産物となりました。改革の最



祭りを盛り上げた中学生ハネト

大の目的である「地方の自立」は道半ばです。地方への税源委譲こそ、財政再建への王道であり、大幅な税財源の地方への委譲により、国と地方を通じた財政再建をめざすべきだと考えております。

地域の躍動と真の自立は、地域の知恵を結集した、地域の創意の中からこそ、実現できると思っております。

◎全国に向け東北町をPR

昨年の青森ねぶた祭では、青森菱友会のねぶたの題材に「小川原湖伝説」が取り上げられ、ねぶた大賞など四つの賞を受賞。まつりを盛り上げると共に、全国に「東北町」「小川原湖」をアピールすることができました。



東北町教育長

蛭名 平一郎

新年への 思い

新年に夢と希望に浸ることは生きがいを求める町民の皆様にとつて欠くことができないことと存じます。

町民の皆様には、新たな思いを心に抱き、晴れやかない年をお迎えしたと存じ、衷心よりお喜び申し上げます。

さて、教育長として早や半年。竹内町長より就任の際、新東北町のもう一本の柱に「教育」をとの指示を受け、学校長はじめ諸先生方、社教指導者そして教育

に造詣の深い関係者より知恵をお借りし、私なりの思いを加えて思業に浸っております。

そんな日々で思うことは、教育は環境で決まるということ。特に痛感させられております。

新しい年は、多くの課題がありますが、最速即決実践をモットーに教育行政を推進したい決意であります。

以下、新年への思いを申し述べさせていただきます。

一つ目は、緊急課題となつていいる子供を不審者から守り、学校は安全で安心なところであることを保証する対応であります。

当町でも昨年三件発生し、幸い事件事故が未遂に終わつていますが、危険な状況であります。

教育委員会としては、やるべき手はすべて打ち、学校・保護者・家庭がそれぞれ役割をきちんと果たしておりますが、登下校はどうしても地域住民の理解と協力なくして安全の保証は難しいことでもあります。

この冬休み中は、特に不審者に対し地域の目が光つていると、けん制することが必要であります。

冬休み明けの一月下旬には、子ども安全対策のための町民代表者大会を開催し、町民の決起で地域の子どもを守る意識の高

揚を図ると共に、学区ごとにスクールサポーター制度をつくり、安全安心を確保したいと思っております。

殊に、高齢者のボランティアに期待したいと思っております。

二つ目は、学力向上とその基礎づくりであります。

近年、小学校は県平均並の学力といわれておりますが、中学校は低迷しております。学力低迷の要因はそれぞれであります

が、その対策として、学校での授業に家庭でどれだけ補充・補完するかが大切と考え、家庭において子供が意欲的に勉強する環境を親が作り出すことが必要であると考えております。

また、学力向上の基礎・基本づくりのために東北町は「子ども読書推進のまち」を宣言したいと思っております。

幼児期から本に触れ、読み書きすることは脳の機能発達に効果的といわれております。

町では町立図書館と学校図書を共有とし本を周回し、厳しい財政化で効率的運用を図り、学力向上につなげたいと考えています。

共に、昨年十一月、脳の発達成長する養育のあり方、育て方を求めて保育所(園)・小・中学校による連携教育推進会議を結成しております。

三つ目は、学校校舎の改築改修を含めた環境整備であります。

当町には古い校舎が多く、大きな課題となつておりますが、年次整備計画により対応したいと考えております。

子供は整った校舎では、心の豊かさ、落ち着き、学力向上が図られるという調査結果があります。ぜひ、きめ細かい対応をしたとと考えております。

四つ目は、社会教育であります。大人は今、グループコミュニティが盛り上がってきており、その活動を通して人間育成、生きがい探しを推進したいと考えております。

また、高齢者には人格完成に向けて世のため人のために尽くし、穏やかな生きがいを求める場を作りたいと考えております。今、学校の空き教室を活用し、高齢者生きがい学級の開設もそんな思いから始めようと考えております。お孫さんと同じ学び舎で安全安心づくりに貢献しながら、若返りに役立てばと思っております。

町民の皆様には新しい年がいい思いをめぐらせ、二万町民和気あいあいの一年でありますようにお祈り申し上げます。新年にあたってのあいさつといたします。



東北町議会議長

沼山 喜久男

バランスのとれた

開かれた協働の

まちづくりを

新年あけましておめでとうございます。

町議会を代表して、謹んで年頭のあいさつを申し上げます。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年三月三十一日に、東北町と上北町が熱い期待を受けながら合併を実現して、「新東北町」として発足いたしました。

全国的に進められております平成の大合併の推進は、今日の少子・高齢化の急速な進展、地方分権の推進、国・地方ともに厳しい財政事情、市町村の枠組みを越えた日常生活圏の拡大など、かつて予想できなかったほど変化している社会経済環境に対応しながら、将来を嘱望し、地域住民の皆様が安心して、豊かに生活できるまちづくりのために行われております。

旧両町は、古来より地理的・歴史的にも、経済・文化・生活の面においても強い結び付きを有し、密接な関係にありましたので、このたびの合併実現により、行政運営の効率化と基盤強化がなされ、総合的な福祉行政の展開、介護保険制度の充実、都市基盤の整備、産業の振興などの施策が高度で多様に展開することが可能となり、大きな飛躍・発展が期待できます。

新東北町のまちづくりは、「みどりの大地と小川原湖に彩られたいのち輝くいで湯の里」を将来ビジョンとする建設計画にしたがって進められていくわけでありますが、私も議会としましても、合併とともに膨らむ新しい文化、各地域固有の文化に光を当てながら、町民の皆様が

希望をもって、安心して、豊かに生活できる町の実現のため、最善の努力を傾注してまいります。

さて農作物関係では、昨年は大雪で消費が遅れ大変心配されましたが、幸いにも農作期間は天候に恵まれ、稲作・野菜作ともに平年以上の作柄となり喜ばしい限りでありました。

しかし一方では、生産者価格の低落など農家にとっては厳しい状況にあり、迎えた新しい年は、コメの生産目標の減少、牛肉ほか輸入農畜産物の増大、国内産地間競争等、農業は厳しい環境下にあります。

農業は当町の基幹的産業であり、町全体への産業振興と地域経済等の発展に大きな役割を担っており、農業の更なる振興のためには、生産基盤の整備、近代化施設の整備、農業担い手の育成等のほか、安全安心の消費者ニーズに対応した収益性が高く、競争力のある産地づくりが大きな課題であり、加えて小川原湖内水面漁業をはじめ、商工業の振興、町民福祉の充実、教育・文化の振興、都市基盤の充実、消防防災の充実等、まちづくりの課題は枚挙にいとまがありません。このことから、新年を迎え、私も町議会議員は、住民代表

者としての決意を新たに、新東北町建設計画の実現や今日の課題の解決のため、年四回の定例会、随時の臨時会、各委員会を通じて、有効適切に政策審議を行うとともに、日常の議員活動を充実活発化して、町民の皆様が希望をもって、安心して、豊かに生活できる新東北町づくりに邁進いたします。

町民の皆様、どうか本年も倍旧のご指導とご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成十八年が、町民の皆様にとりまして、健康で幸福な年でありませう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



東北町議会議場の様子

新「東北町」の「町民の歌」と

東北町・町民の歌

作詞・作曲 いしだ ただし

あさひかがやーく おがわらーこ
 みらいにかけーて にじーが たつ
 こぎだすーふねに きぼーのせて みんなでまちの みちーひら
 く あしたをめざーす わがまーち
 ああ ひらけゆく とーほく まちー

1

朝日輝く 小川原湖

未来にかけて 虹がたつ
 漕ぎ出す船に 希望を乗せて

みんなで町の 道ひらく

あしたを指す わが町

ああ 拓けゆく 東北町

2

緑の丘に いきいきと

花咲き実り 人育つ

森と大地に 恵みを受けて

みんなで町を 幸せに

あしたを築く わが町

ああ 豊かなる 東北町

3

つぼの碑 語り継ぎ

歴史と文化の 風薫る

いで湯の里に ふれあい深め

みんなで町に 灯をともし

あしたを望む わが町

ああ 栄えゆく 東北町

平成十八年一月五日制定

町民に愛される歌に！

町民の歌制定

新「東北町」の歌『東北町・町民の歌』が一月五日に制定されました。

この『町民の歌』は、作詞・作曲を上北音頭の制作に携わったいしだただしさん（青森市在住）に依頼。CD制作では、当町出身でヴォーカリストとして活躍中の小笠原優子さんが歌入れをしました。

『町民の歌』の制作にあたっては、町内各種団体代表者や学識経験者六名と制作担当者らによる東北町町民歌制定委員会（附田貞夫委員長）が、九月二十日の第一回制定委員会から約二か月にわたって協議を重ねて制作しました。

制作の課程では、新町の理想とする町づくりのために、町民の支えとなり、町民の励みとなる歌を基本コンセプトに、子どもから高齢者まで全町民が親しみや郷土愛を感じ、町の発展を願う歌詞や旋律となるように、また、新しい町の近未来を想定し、次世代へも継承する歌詞・旋律となるようにと、いろいろな角度から協議を行って制作しました。

花・木・鳥が決まりました!

町の花『さくら』

小川原湖畔に春を告げる花として、町民の心を和ませ、元気を与えてくれる『さくら』は、東北町の美しさを表現するのにふさわしい花です。



町の鳥『はくちょう』

小川原湖に飛来する『はくちょう』は、純白で、優雅で、優しく、町民に親しまれ、大きく飛び立つ姿は、東北町の姿を象徴するのにふさわしい鳥です。



町の木『甲地赤松』

緑の大地に、大空に向かって真っ直ぐに立つ「甲地赤松」の姿は、力強さととりしさを感じ、東北町の繁栄にふさわしい木です。

東北町のシンボルとなる町の花・木・鳥が一月五日に制定され、町の花『さくら』、町の木『甲地赤松』、町の鳥『はくちょう』に決まりました。

町の花・木・鳥の制定にあたっては、平成十七年十月十一日から十一月十一日まで町民を対象に一般公募が行われ、応募者数は二百七十一名になりました。

その応募作品の中から、「町民に感動を」「豊かな心の育み」「町の観光の潤い」の観点にそって選考委員会(工藤長六委員長・他七名)が選考を重ね、制定しました。

なお、花・木・鳥の一般公募での「道の駅おがわら湖商品引換券」当選者は次のとおりです。

(敬称略)

◆町の花『さくら』：洞内晃喜(横沢) 瀬川美世子(徳万才) 種市亘(上野) 蛭名健(旭町) 尾形フミ(栄町)

◆町の木『甲地赤松』：小笠原卓哉(小川原) 成田さつき(外蛭沢) 嶋川あい子(乙供) 高橋今子(南町) 木村正一(水喰)

◆町の鳥『はくちょう』：小笠原啓太(小川原) 榑崎祐子(新町) 小笠原久美子(向山) 瀬川みち江(徳万才) 蛭名チヲ(上野)



じまんステージでは彩湖舞姫会が小川原湖伝説を披露



竹内町長自らマイクを手に東北町をPR

第16回電気のふるさとじまん市 東北町から全国へ 地元産品をPR・販売

3日間の売り上げ総額2,205,680円



売り場では町の特産品をPR・販売

(財)電源地域振興センター主催の「電気のふるさとじまん市」が十一月十八日から二十日までの三日間、千葉県幕張メッセで開かれました。

今年で十六回目を迎える「じまん市」には、全国の発電所周辺の電源地域から二百十九市町村、青森県からは東北町を含めて十七市町村が参加。当町からは、町物産協議会(市川徹雄会長)に加盟している漁協、特産品販売促進協議会など三団体五業者など計二十三名が参加しました。

会場では、全国各地から集まった自慢の名品や特産品など約五千品目がずらりと並んだほか、各地の郷土芸能や観光PR、クイズ大会などのイベントが行われ、三日間で延べ十一万人が来場しました。

会場内に二カ所設けられた当町の売り場では、長いもを使った豚汁すいとんやしじみ汁、佃煮など四十四種類の商品を販売。売り場前に長蛇の列ができるほどの盛況ぶりです。出店関係者たちは大きな声で町の特産品をPRしたり、売り場を訪れたお客さんに、笑顔で接し、商品を詳しく説明したり、試食してもらいながら総額二、二〇五、六八〇円を売り上げました。

また、会場内に設けられた特設ステージでは、東北町の観光PRが行われ、竹内町長自ら東北町の特徴や特産品、小川原湖についての観光PRしたほか、彩湖舞姫会の皆さんが「小川原湖ソーラン」「小川原湖伝説」を披露し、全国に向けて東北町ならではの「じまん」をアピールしました。

物産協議会では、このイベントが全国市町村相互の交流を図ることはもとより、物産品のPRと販路拡大につながるものとして、今後も参加していく方針です。



しじみ汁コーナーは人だかりができるほどの大人気

知事と語ろう『上北道路』会議

上北中生が知事と会議 上北道路を活かす アイデアを提案



上北道路について意見やアイデアを提案

「知事と語ろう『上北道路』会議」が十二月五日、上北中学校（廣野雅美校長）で開かれ、同校の生徒約三百人と三村申吾知事が上北道路の整備計画や活用策について意見交換をしました。これは三沢―天間林間を結ぶ国道四十五号「上北道路」の整備促進に地元の中学生の意見を反映させようと青森県が開催したものです。

会議では、生徒を代表して富岡哲也君（二年）、小笠原理文君（三年）、蛭名一樹君（三年）の三名が上北道路について「大きな病院まで短時間で行ける」「観光客が来やすくなる」などと意見発表しました。また、蛭名君が「インターチェンジに各地区の観光をアピールする名称を



生徒からの質問に答える三村知事

つけてはどうか」と提案すると、これには三村知事も「おもしろいアイデア。国にも提案したい」と賛同していました。

続いて行われた質疑応答では、生徒たちが「完成まで時間がかかりすぎては困る」という意見や「完成までにどれくらいのお金がかかるのか」「道路建設で環境への影響はないのか」などと次々に質問。三村知事はなかなか鋭い質問に「県議会並だなあ」と感心しながら「観光や物流での経済効果は大きい。自然環境については事前調査で影響は少ない」と答え、「この道路は皆さんが大人になって使うもの。皆さんのアイデアをい未来のために活かして早く使えるようにしたい」と話していました。



生徒からは鋭い質問も

100歳を祝い長寿祝い金贈る おめでとうございます

町では十一月二十六日、同日に百歳を迎えた蛭名ヤイさんに長寿祝い金を贈りました。

蛭名さんは一九〇五(明治三十八)年、外蛭沢生まれ。子供十一人、孫二十七人、ひ孫四十人、やしゃご六人。現在は介護老人保健施設「えぼし」に入所しています。

贈呈式では、向井助役が内閣総理大臣、県知事、町長名の顕彰状や長寿祝い金三十万円と花束を手渡し、祝福しました。これからも元気でいてください。



▲向井助役から顕彰状や祝金が手渡されました

食の大切さを知って！

町保育研究会講演会



▲食の大切さを語る佐藤さん

東北町保育研究会は十一月二十八日、町民文化センターで食を通じた奉仕活動を行って、いる佐藤初女さんの講演会を開き、町内の保育関係者ら約百五十人が食の大切さを学びました。

佐藤さんは「食事を通して心をいやす」と題して講演。食に関わるエピソードを交え「食べることは命をいただく大切な行為。おいしいと感じたとき心の扉でさえ開くことができる」と食の重要性を強調。また「子どもに食べ物を粗末にしないことを教える人が少なくなつた。さりげなくこのことを伝えてほしい」とアドバイスしていました。

小川原小で収穫祭 育てたお米でもちつき大会

小川原小学校(新戸部靖子校長)の収穫祭が十二月七日、同校体育館で開かれ、児童と父母、地域住民ら約百五十人がもちつきを行って収穫を祝いました。

もちつきに使ったもち米は、五年生を中心に田植えから収穫まで行ったもので、約四百五十キロのもち米を収穫しました。収穫祭では、五年生が研究発表をしたあと、父母や地域の方々と一緒にもちをつきあげ、つくたてのおもちを雑煮などにして収穫の喜びを味わっていました。



▲ヨイショ ヨイショと声をかけみんなでもちつき

餅つきで近所の絆深める 大人はしめ縄づくり

元町町内会(伊賀哲男町内会長)は十一月十八日、同町子ども会の子どもたち十三人を含む約四十人が参加し、神社や寺院に奉納する「しめ縄」づくりと餅つき会を集会所で行いました。

子どもたちによる餅つきは昨年が続いての開催。子どもたちは「よいしょ」のかけ声でリズムよく餅をつき、お汁粉やきな粉もちにして味わいました。神社や寺院に奉納するしめ縄づくりは大人たちが担当、手分けしながら時間をかけて四本のしめ縄を完成させました。



▲もちつきを楽しむ子どもたち

新観光協会スタート 旧町観光協会が統合調印式

東北町観光協会（沢田禮会長）と上北町観光協会（蛭名悟敏会長）は十一月二十五日、役場本庁舎で統合調印式を行いました。調印式では、竹内町長立会いの下、沢田、蛭名両会長が統合調印書に署名、押印し、両会長が「一日も早く設立し、全体を見ながら観光という事業を進めていきたい」とあいさつしました。続いて竹内町長が「個性

を活かして町のにぎわいを取り戻すような協会であってほしい。行政としてバックアップをしていきたい」と祝辞を述べました。

両協会は今年三月末の両町合併に伴い、昨年からの統合に向けた話し合いを続けてきました。同協会では、今後設立総会を開き、新「東北町観光協会」としてスタートすることになっています。



▶統合調印書に署名・押印しガッチリと握手



▲記念碑の除幕をする関係者

地域の発展願 記念碑建立除幕式

県営才市田地区緊急農地集積ほ場整備事業の記念碑除幕式が十二月八日、才市田地区の建立地で行われ、大浦土地改良区の蛭名敏善理事長や竹内町長らが出席し、記念碑の除幕を行い、事業の完了を祝いました。この事業は、農作業の省力化と農業経営の近代化を目的に大区画化するもので、平成二十二年度に着工、総工費十二億二千

六百四十万円、受益面積四十八・九ha、対象農家は五十六戸。平成十八年度運用開始の運びとなったことを記念して記念碑を建立したもので、石碑には、「宝地拓農」（農にて拓き、宝の地とする）との言葉が刻まれています。蛭名理事長は「町のモデル推進地区として、発展することを願います」とあいさつしました。

けやき寮で交通安全教室 利用者が交通ルールを学ぶ



▲横断歩道を渡る訓練をする入所者

知的障害者更生施設「けやき寮」（沼山助内園長）で十一月十八日、入所者ら約六十人を対象とした交通安全教室が開かれ、事故に遭わないための交通ルールを学びました。同教室には野辺地警察署員や町交通指導隊員らが講師として参加。模擬信号機を使った横断歩道の歩行訓練では、入所者が署員らの指導を受けながら、信号と左右の状況確認をして横断するなど、交通安全について学んでいました。

科学を体験できる公園です (みどりの大地とロマンの森公園内)

新たなシンボル完成「からくり噴水」



JR乙供駅から徒歩5分のところに、「みどりの大地とロマンの森公園」があります。

その公園内に、子供から大人まで訪れる人たちに科学にふれる楽しさ・不思議さを実感できるように、平成13年度から科学遊具を順次設置してきました。

今年度は、「からくり噴水」を設置し、ポンプやモーターを使わず、自然の原理で水が噴き上がり、回転する不思議な噴水を設置しました。

仕掛けは何と・・・？高低差！電気代、水道代もかかりません。

今は凍結の心配により取り外ししていますが、雪が解けたら、雪解け水できれいならせん状で水を落としてくれます。それまではしばし冬眠します。

このほかにも幾つかの科学遊具がありますのでちょっとご紹介します。



世界にここだけ！
「分子模型遊具」

身の回りにある分子を12億倍したバネ付きの遊具です。
アクリル分子、アルコール分子、アセトアルデヒド分子、
お酢の分子模型の4体あります。
どれがどれだかわかるかな？



「エジソンのメガホン」

遠く離れたところの音を聞くための道具です。
驚いたことに3～4キロ離れた場所の音を聞くことができるそうです。

向かい合って設置していますので、ひそひそ話で会話を楽しんでみてください。

すいぎんくつ 「水琴窟」

江戸時代の日本人が発明したといわれています。

通常は埋設されていますが、ここでは地上に設置し、構造と音色を楽しんでみてください。



日本のお父さん、お母さん、 ありがとう！

中国農業研修生帰国

とうほく天間農業協同組合(岡山時夫組合長)が国際交流事業の一環として受け入れた中国農業技術研修生が、八ヶ月間の研修を終え帰国、その送別会が十二月八日、同農協本所で行われました。

研修生は、三月下旬に来町した十八歳から二十五歳までの女性三十九名。町内の野菜農家にホームステイし、働きながら農業技術や習慣などを学びました。

送別会では、岡山組合長はじめ、受け入れ農家、関係者約百



▲研修修了証明書が手渡されました

十名が出席。岡山組合長が研修生代表の陶勇娟さんに研修修了証明書を手渡し「研修で学んだことを生かし、頑張ってください」とあいさつし、向井榮一助役より激励のことばが述べられました。

これに対し、研修生代表の陶勇娟さんが日本語であいさつし、思い出とこれからの抱負を聞かせてくれました。

善意ありがとう

◆社会福祉協議会へ地域に役立ててくださいと寄付がありましたのでご紹介します

- ◎社会福祉協議会上北支所が十一月七日、生き活きまつりにて同会の役員らが寄付した物品を販売したチャリティーバザーの益金二万五千五百七十五円を寄付しました。
- ◎シルバー陶芸クラブ(上北地区蛭名トキ代表)が十一月十日、生き活きまつりで販売した作品の益金一万円を寄付しました。
- ◎東北町陶芸クラブ(東北地区沼崎昭代表)が十一月十五日、産業文化まつりで販売した作品の益金二万五千八百円を寄付しました。



▲寄付金を手渡す蛭名校長(左)

- ◎小川原湖ゴルフ愛好会(上北地区・沼尾浩幸代表)が十一月十五日、チャリティーゴルフ大会の益金三万七千二百二十八円を寄付しました。
- ◎上北社交ダンス愛好会(蛭名悦武会長)が十一月二十七日、第十五回チャリティーダンスパーティーでの収益金の一部五万円を寄付しました。
- ◎上北地区公民館クラブ連絡協議会(蛭名ツヨ子会長)が十一月二十五日、生き活きまつりのチャリティー活動の益金一万円を寄付しました。
- ◎上北職業能力開発校(蛭名正泰校長)が十一月十六日、生き活きまつりでまな板等の作品を販売した益金四万円を寄付しました。



▲きれいな花々をありがとうございました

- ◎東北町地区暮らしと健康を考える会(中根久美子会長)が十二月二日、東北町産業文化まつりでのバザーの益金より一万円を寄付しました。
 - ◎上北地区グラウンドゴルフ協会(蛭名文俊会長)が十二月五日、グラウンドゴルフ大会や年間を通してホールインワン賞を決めた人からいただいた益金七千五百五十円を寄付しました。
- ◆東北町へ
- ◎(有)瀬川緑化園芸(代表取締役 瀬川茂夫)がこのほど、マリーゴールドなど六種類の花の苗千九百二十五本を町に寄贈し、役場本庁舎やふれあい村、上北町駅周辺に植えていただきました。
- ありがとうございました。

平成17年度朝野球・壮年朝野球閉幕式

Aブロック: 上野野球愛好会
Bブロック: 商工会、壮年: 本町
がみごと優勝を飾る!



Aブロック優勝 上野野球愛好会



Bブロック優勝 商工会



壮年優勝 本町

第三十七回上北町朝野球リーグ戦と第二十八回上北町壮年朝野球リーグ戦の閉幕式が十一月十八日、町民文化センターで開かれ、上位チームと活躍選手を表彰し健闘を称えました。

今年度Aブロックには六チーム、Bブロックには九チーム、壮年野球には五チームが参加して熱戦を展開しました。

なお、各リーグの最終順位と個人賞は次のとおりです。

- 《Aブロック》
- ①上野野球愛好会(9勝1敗)
 - ②上北ファントム(6勝3敗)
 - ③春華(5勝5敗)
 - ④ファイヤーズ⑤三共マリナーズ⑥上北町役場

◆最高殊勲選手賞・蛭名達哉(上野野球愛好会)



◆最優秀選手賞・工藤和也(ファントム)

◆優秀選手賞・蛭名哲也、蛭名雅樹、蛭名朝(上野)沼田勇人、柴田宣敬(ファントム)沼尾幸城(春華)佐藤雄太(ファイヤーズ)

◆敢闘賞 佐々木政人(上野)町屋祐二(ファントム)李澤弘明、竹内哲(春華)熊野秀悦(ファイヤーズ)種市一城(三共)富岡賢治(役場)

◆勝利監督賞 鶴ヶ崎一敏(上野)

《Bブロック》

- ①商工会(7勝1敗)
- ②ティーツー(7勝1敗)
- ③株内山(5勝3敗)
- ④エースワン⑤旭町野球部⑥五十樹クラブ⑦チーム上野⑧栄町野球部⑨E E友上北

※一位、二位については勝率が同率のため、直接対戦の結果商工会が優勝

- ◆最優秀選手賞・佐々木寛明(商工会)、小笠原章(ティーツー)
- ◆優秀選手賞・湯浅修、遠藤豊(商工会)野田頭上総(ティーツー)内山岳晴(内山)沼田創仁(エースワン)沼尾光司(旭町)馬場修二(五十樹クラブ)
- ◆敢闘賞・大北正(商工会)甲地直美(ティーツー)蛭名輝昭(内山)柴田一三(エースワン)蛭名洋(チーム上野)向井勝一(栄町)沼山昭(E E友)
- ◆勝利監督賞 和賀君夫(商工会)

《壮年朝野球リーグ戦》

- ①本町(4勝)
- ②ナミキーズ(3勝1敗)
- ③三共マリナーズ(2勝2敗)
- ④五十樹クラブ⑤E E友上北
- ◆最高殊勲選手賞 米内山昌大(本町)
- ◆最優秀選手賞 大坂隆洋(ナミキーズ)
- ◆優秀選手賞・佐々木正彦、蛭名定光(本町)大坂俊一(ナミキーズ)森川秀樹(三共)
- ◆敢闘賞・蛭名清治(本町)沼口良典(ナミキーズ)浜田募(三共)織笠文雄(五十樹クラブ)和田徳導(E E友)
- ◆勝利監督賞 蛭名一弘(本町)

ナイターバレーボールリーグ戦 CLUB一心、ファンキーズが優勝!

第三十回ナイターバレーボール大会が十一月九日から十二月五日まで東北町民体育館で行われ、選手の皆さんがさわやかな汗を流しました。

大会には男子十チーム、女子八チームが参加。男女それぞれA・Bブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの一位チームが決勝戦を行いました。

熱戦の結果、男子はCLUB一心が、女子はファンキーズがみごと優勝を飾りました。



▲男子リーグ優勝 CLUB一心



▲女子リーグ優勝 ファンキーズ

なお、大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

【男子リーグ】

▽優勝 CLUB一心

▽準優勝 上北ホームガス

▽第三位 M&T

▽MVP 瀬川直純(一心)

【女子リーグ】

▽優勝 ファンキーズ

▽準優勝 小川原

▽第三位 キヤメル

▽MVP 附田香織(ファンキーズ)

B&G杯争奪バレーボール大会 (株)上北ホームガス、やまびこAが優勝!



▲さわやかな汗を流す選手たち

第二十三回B&G杯争奪バレーボール大会が十二月四日、北総合運動公園総合トレーニングセンターで行われました。大会には町内在任の十八歳以上で編成された男女各四チームが参加し、日頃の練習の成果を発揮して、熱戦を展開しました。◎大会の結果は次のとおりです。

◆一般男子の部

▽優勝 (株)上北ホームガス▽準優勝 M&T▽三位 蛭沢分館

◆一般女子の部

▽優勝 やまびこA▽準優勝 やまびこB▽三位 ⅡR。

▽優勝 やまびこA▽準優勝 やまびこB▽三位 ⅡR。



▲女子の部 優勝 やまびこA



▲男子の部 優勝 (株)上北ホームガス

こんにちは保健師です



東北町保健師
江刺家 紅実子

『コレステロール』のこと 知ってますか？

日本人の血中コレステロール値の平均は欧米諸国に近くなり、近年、中年期以降のほぼ3～4人に1人(約25%)が高コレステロール血症だと言われています。東北町でも平成16年度の健診結果では高コレステロール血症(高脂血症)で要指導、要医療となった人は679人(38%)にもものぼっています。近隣町村でも東北町は多いのが現状です。

しかし、コレステロールが高いからといってすぐ薬に頼らず、自分の生活習慣の見直しを試みましょう。改善できる点はありませんか？

<コレステロールを 下げるための3本柱>

1. 肥満解消

肥満は中性脂肪を増やし、善玉コレステロールを減らしてしましますが、肥満を解消すると血中のコレステロール値は確実に下がります。

また、肥満の改善には血中のコレステロール値を下げる食事が最適です。



2. 食事

食生活を見直すこと。血中のコレステロール値を上げにくい食生活を身につけましょう。

《コレステロールを下げる食品》

- ・背の青い魚(あじ、さんま、さばなど)
- ・大豆製品(油揚げ、豆腐、納豆、味噌)
- ・植物性油脂(サラダ油など)
- ・適度のアルコール
- ・野菜、果物、海藻

《コレステロールを変化させない食品》

- ・マヨネーズ
- ・魚卵、鶏肉、レバー
- ・牛乳
- ・いか、えび
- ・和菓子
- ・たこ、貝

《コレステロールを上げる食品》

- ・牛、豚肉の脂身(バラ肉、皮、胃、腸)
- ・肉加工食品(ソーセージ、ハム、ベーコン)
- ・洋菓子(チョコレート、ケーキなど)
- ・動物性油脂(バター、ラード)
- ・乳脂肪分(チーズ、高脂肪アイス)
- ・卵黄



3. 運動

肥満予防やコレステロール代謝を改善するためにも、大変大切なことです。

「30分続けてできる運動」をできる範囲で生活の中に取り入れましょう。



健康家族 Healthy familys

「元気ハツラツ健康教室」開催のお知らせ

日時	場所	内容	講師
1月31日(火) 13:30~14:30	上北保健福祉センター	コレステロールのここを教えます	ちびき病院 院長 間瀬 豊氏
2月28日(火) 13:30~15:00	東北町保健福祉センター	健康劇「長寿の秘訣はお口の健康！」	東北地区保健協力員
		加齢に伴う目の変化 ～あなたの目は大丈夫ですか?～	福田眼科医院 院長 福田 敦氏
2月20日(月) 13:30~14:30	上北保健福祉センター	楽しく体を動かそう ～イスに座ったままでもできる体操～	インストラクター 山本 直子氏

1・2月の健康カレンダー

問い合わせ先：保健衛生課
 東北町保健福祉センター 0175-63-2001
 上北保健福祉センター 0176-56-2933

事業名	実施日	実施場所	受付時間	対象者
乳児健診	1月20日(金)	七戸病院健康管理センター	12:50~13:00	・3ヵ月児 (平成17年8月27日~9月30日生まれ) *対象者には個別通知します
		東北町保健福祉センター	10:00~10:15 13:00~13:15	・6ヵ月児 (平成17年6月、7月生まれ) ・9ヵ月児 (平成17年3月、4月生まれ)
幼児健診	1月12日(木)	上北保健福祉センター	13:00~13:15	・2歳6ヵ月児健診 (平成15年6月、7月生まれ)
	1月19日(木)		10:00~10:15	・1歳児健康相談 (平成16年12月、平成17年1月生まれ)
			13:00~13:15	・1歳6ヵ月児健診 (平成16年6月、7月生まれ)
はつらつ教室	1月18日(水)	東北町保健福祉センター(美須々地区)	12:00~14:00	・脳卒中後遺症、老化などにより体の機能が低下している方(自分または家族の協力で会場まで来られる方)
	1月25日(水)	東北町保健福祉センター	10:00~14:30	
ほがらか教室	1月25日(水)	上北保健福祉センター	9:30~12:00	・40歳以上で自分または家族の協力で会場まで来られる方(参加希望の方は上北保健福祉センターまでご連絡ください。)
	2月7日(火)			
ポテトクラブ(精神障害者の集い)	1月16日(月)	東北町保健福祉センター	10:00~14:30	・心の病気を治療中で社会復帰を目指している方、及び家族の方(初めて参加する方は申請書等の提出が必要ですので保健師までご連絡ください。)
つつじ作業所	毎週月、火、木、金	中央公民館		

乳幼児健診・予防接種等をうける際は、母子手帳を忘れずにお持ちください。

健康家族

保健師 9

ヒップ

たたいまゝ

かな?

お父さんは今
ほろ酔い後期

わ

どうして
わかるんだ!

ア
コ
ル
の
強
い
男
だ!

あ
の
ね
、
今
日
学
校
で

飲みすぎに注意しよう!

広報とうほく クイズに挑戦

図書券プレゼント

正解者の中から抽選で5名の方に「図書券」をプレゼント！
あなたもチャレンジしてみましょう！

応募方法

- ☆ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号と答えを書いて送ってください。応募の際、広報などについてのご意見もお待ちしております。
- ☆応募先 〒039-2492
東北町上北南四丁目32-484
役場企画課「クイズに挑戦」係
- ☆応募締切 - 1月20日(金)

今月の問題

Q1

町の花・木・鳥が制定されましたが、それぞれ何が選ばれたのでしょうか？ (ヒントP6)

Q2

上北中で三村知事と中学生による会議が開かれましたが、議題となった三沢-天間林間を結ぶ国道45号線は何と呼ばれているのでしょうか？ (ヒントP8)

Q3

才市田地区ほ場事業の記念碑には4文字で何と刻まれているのでしょうか？(ヒントP10)

12月号の答え

- ①56本
- ②108点
- ③60歳

12月号当選者

- 小林 洋子 さん
- 原 田 恵美子 さん
- 中 居 いと さん
- 蛸 名 葉 月 さん
- 角 田 カチ子 さん



源泉徴収票が 送付されます

国民年金、厚生年金及び共済組合などから支給される老齢または退職を支給事由とする年金は、所得税法では雑所得とされ所得税の課税対象となります。このうち国民年金、厚生年金にかかる源泉徴収票は1月末頃までに社会保険庁から送付されます。複数の年金を受給されている方や年金以外にも所得のある方は確定申告が必要であり、それ以外にも医療費等の控除を受ける方はこの源泉徴収票を税務署に提出することになります。

源泉徴収票が送付されなかったり、紛失したりした場合には、青森社会保険事務所にご相談ください。

なお、障害年金、遺族年金などは非課税となっており、これらを受給されている方には送付されません。

【移動年金相談】

- ◆場所-七戸町柏葉館
- ◆日時-1月25日(水)
11:00~14:30

【国民年金納付相談】

- ◆場所-東北町文化センター
- ◆日時-1月25日(水)
11:00~15:00
- ◆場所-東北町コミュニティセンター未来館
- ◆日時-1月26日(木)
11:00~15:00

基礎年金番号通知書及び年金手帳、職歴のメモ等をお持ちください。

◎お問合せ先

- 町民課国民年金係
TEL 0176-56-3111(代表)
又はTEL 0175-63-2111
- ▽本庁舎(内線153)
- ▽分庁舎(内線548)
- ▽青森社会保険事務所
TEL 017-734-7498
(国民年金給付課)

除雪に関するお問い合わせ先

町道等の除雪につきましては、上北地区と東北地区とを分けて管理していますので、在住する地区の担当部署までお問い合わせください。

なお、土日祝祭日、平日8時15分~17時以外の時間帯は、下記まで連絡ください。

◎上北地区除雪担当

- 東北町役場 本庁舎 基地対策室
TEL 0176-56-3111(内線240・241)

◎東北地区除雪担当

- 東北町役場 分庁舎 建設課
TEL 0175-63-2111(内線648・650)

お知らせInformation

平成18年度 保育園(所)入所案内

◇入所資格

小学校就学前の児童で、両親が次のいずれかに該当し、また同居の親族も児童を保育することができない場合。

- ①家庭外で仕事をする場合 ②家庭内で仕事をする場合 ③出産で保育できない場合
④病気・心身障害の場合 ⑤病人・心身障害者の介護の場合 ⑥家庭の災害の場合

◇募集期間及び受付場所

*募集期間:平成18年1月4日(水)～1月31日(火)

*受付場所:各保育園(所)および、役場福祉課(本庁舎・分庁舎どちらでも可)

◇必要書類

- ①保育所入所申込書 ②就労証明書…各保育園(所)と役場福祉課(本庁・分庁舎)に用紙があります。
③平成17年度市町村民税課税証明書…平成17年1月1日現在、東北町以外に住所があった方は必要ですので、前住所地の市町村から取り寄せて下さい。
④源泉徴収票(平成17年分)のコピー…勤務先から取り寄せて下さい。

◇入所期間

平成18年4月1日から小学校入学前までの範囲内で、保育に欠ける期間。

※ただし、出産・就職活動中などの場合は、入所期間を限定します。

◇選考方法

一定枠範囲内は全員受け入れますが、定員を超える場合は継続入所児童を優先し、第2・第3希望の保育園(所)への入所の場合もあります。最終決定は、3月中旬に通知します。

◇広域入所

保護者が仕事の都合上など特別の事情がある場合は、他の市町村の保育園(所)を選択できます。
※ただし、定員に余裕があるなど、他市町村の承諾が得られる場合に限りです。

◇途中入所及び継続入所

*年度途中(4月以降)の入所は随時受け付けしますが、保育園(所)定員の枠内となります。
*現在入所中の児童が、引き続きその保育園(所)に入所する場合、次の書類の提出が必要となります。

- ①家庭状況調書 ②就労証明書…各保育園(所)から配布されます。
③源泉徴収票(平成17年分)のコピー…勤務先から取り寄せて下さい。

※その他詳しいことは、各保育園(所)及び、役場福祉課福祉係までお問い合わせ下さい。

役場分庁舎 福祉課本課 TEL 0175-63-2111 (内線527)

役場本庁舎 福祉課分課 TEL 0176-56-3111 (代表) (内線141)

施設名	町内名	定員	設置主体(法人名)	電話番号
ハッピー保育園	旭町	90	栄光会	0176-56-2178
第二保育園	新町	90	上北拓心会	0176-56-2401
第三保育園	大浦	45	上北拓心会	0176-56-2291
小川原保育園	小川原	45	優希会	0176-56-3535
上野保育園	上野	70	上野福祉会	0176-56-5115
わかさぎ保育園	栄町	60	上北福祉会	0176-56-4011
さびしろ保育園	淋代	20	青松会	0175-68-2876
乙供保育園	乙供	60	乙供福祉会	0175-63-4056
乙供文化保育園	向旗屋	60	こばと福祉会	0175-63-2544
カナリヤ保育園	甲地	70	甲地福祉会	0175-62-2971
千曳保育園	千曳	30	善隣会	0175-64-1558
中央ポプラ保育所	表町	70	長崎福祉会	0175-63-3173
ポプラ保育園	甲地	60	東北赤松福祉会	0175-62-2712
水喰保育園	水喰	45	さくら福祉会	0175-62-2639

所得税・住民税の申告相談のお知らせ

- 申告相談日程については、P22-23に各地区の日程表を掲載していますのでご覧ください。
平成18年2月6日から3月15日まで、所得税・住民税の申告相談が行われます。
申告相談の際には、次のことに注意してください。
 - ①申告相談に必要な書類は、事前に整理しておくとともに、その内容がわかる方がおいでになってください。
 - ②都合により指定日に申告できない方は、日程表を確認の上3月15日までに申告してください。
ただし、例年大変混み合いますので、待ち時間が長くなる場合があります。できるだけ、指定日に申告してください。

**仙台国税局から所得税の申告書作成等の許可を受けているのは、3月15日までです。
それ以降は、税務署で申告してください。**

★申告に必要な書類等

- ①印鑑(所得税の振替納税を希望する場合は、預金通帳に使用している印鑑)
- ②生命保険料(一般用)、生命保険料(個人年金用)、損害保険料の控除証明書
- ③国民年金保険料を納付した方は、**社会保険庁発行の控除証明書**又は領収証

(平成17年1月1日から12月31日までに納付した分です。領収証の場合、平成16年度と17年度にまたがっていますので両方持参してください。)

- ④医療費控除を受ける方は、領収証と明細書(領収証を個人別、病院別に仕分けし、明細書を作成してきてください。明細書は、本庁税務対策室、支所税務課にあります。)
- ⑤給与収入・年金収入のある方は、源泉徴収票
- ⑥事業収入(農業・漁業・酪農・小売業・飲食業・理美容業・不動産業等)のある方は、収入金・必要経費がわかる書類を持参するとともに、その関係書類を項目ごとに仕分けし内訳書を作成してきてください。(内訳書は、本庁税務対策室、支所税務課にあります。)
- ⑦確定申告書(税務署から送付された方のみ)
- ⑧預金通帳(還付を受ける方、振替納税を希望する方)

★申告しなくてもいい方

- ①給与所得だけの方で年末調整の終わっている方
- ②税務署・商工会・税理士等で申告している方
- ③生活扶助を受けている方等

待ち時間の短縮にご協力をお願いします。

申告相談は例年大変混み合い、待ち時間も長くなりますので、次の点に留意し、待ち時間の短縮にご協力をお願いします。

- ①医療費控除を受ける方は、領収証を個人別、病院別に仕分けし、あらかじめ計算して医療費の明細書を作成してきてください。
- ②事業収入(農業・漁業・酪農・小売業・飲食業・理美容業・不動産業等)のある方は、関係書類を整理し、あらかじめ内訳書を作成してきてください。
(医療費の明細書・事業の内訳書は、本庁税務対策室、支所税務課にあります)
- ③医療費の明細書や事業の内訳書をあらかじめ作成していない場合は、申告会場にて作成していただく場合もありますので、注意してください。

★お問合せ先

- 東北町役場 TEL 0176-56-3111(代表)またはTEL 0175-63-2111
- ▽分庁舎-税務課(内線516)
- ▽本庁舎-税務対策室(内線112)

お知らせInformation

戸籍の届出を執務時間外に提出される方へ

戸籍の届出(出生届・婚姻届・離婚届等)は、町民課窓口が閉じている時にも受付しています。執務時間(平日の午前8時15分～午後5時)以外は警備員がお預かりします。

なお、休日明けに戸籍担当者が届書を確認し、記載内容に不備(誤記・印鑑の違い・添付書類が不足等)がある際には、後日、町民課窓口へお越しいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

死亡届については、埋火葬許可証を発行する必要性から、届出を受付する担当者(自宅待機)が警備員からの電話連絡を受け庁舎に向かい対応しております。

届出人の方は、はじめにお寺に行き火葬の日程を決めた後に、役場に電話連絡をして下さいますようお願いいたします。電話連絡をなさらないまま来庁されますと、届出人の方をお待たせし大変ご迷惑をお掛けいたします。

町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◇時間外窓口の場所—本庁舎・分庁舎ともに、役場正面入口、むかって左側の休日・時間外通用口側の警備室で受付しています。

◎お問い合わせ先—東北町役場町民課戸籍係

TEL 0176-56-3111(代表)または、TEL 0175-63-2111

▽本庁舎—内線152、153

▽分庁舎—内線543、549

平成17年分確定申告等説明会日程表

十和田税務署主催の説明会が下記のとおり開催されます。

開催月日	対象者	対象市町村	会場	時間
2月1日(水)	消費税課税事業者	東北町・三沢市 百石町・横浜町 下田町・六ヶ所村	三沢市 公会堂	10:00～12:00 13:30～15:30
2月3日(金)	公的年金受給者	東北町・十和田市 野辺地町・七戸町	十和田市 南公民館	10:00～12:00 13:30～15:30
2月7日(火)	住宅取得者	東北町・三沢市 百石町・横浜町 下田町・六ヶ所村	三沢市 公会堂	10:00～12:00 13:30～15:30

平成17年分申告相談日程表〈東北地区〉

会場：東北町コミュニティセンター 2階集会室

時間：午前 9:00～12:00
午後 1:00～4:00

月 日	曜日	地 区 名
2月6日	月	宇道坂・添ノ沢・石坂・湯沢・上清水目・下清水目・上板橋
2月7日	火	北栄・林口・長者久保・豊ヶ丘・下板橋・南平・夫雑原
2月8日	水	千曳・石文・大平・トキワ・向平
2月9日	木	横沢・淋代・数牛・豊畑・豊瀬
2月10日	金	美須々・柵(午前のみ)
2月13日	月	水喰・豊前・中村・浜台
2月14日	火	細津・崩出・切左坂・野田頭・五十嵐・大池
2月15日	水	長久保・御料・狼ノ沢・漆玉・土橋
2月16日	木	甲地
2月17日	金	滝沢・旭・豊栄・田ノ沢・郡山
2月20日	月	巴蘭・徳万館・蒼前
2月21日	火	鶴ヶ崎・舟ヶ沢・蓼内
2月22日	水	乙部・枋木・輝ヶ丘・寒水
2月23日	木	内蛭沢
2月24日	金	外蛭沢
2月27日	月	保戸沢
2月28日	火	上畑・大旗屋・向旗屋・大向旗屋・塔ノ沢・千代畑
3月1日	水	坂下町・明美・緑町
3月2日	木	
3月3日	金	乙供元町・馬込・朝日団地
3月6日	月	乙供新町・桜木町・表町
3月7日	火	乙供栄町・館花・みどりヶ丘団地
3月8日	水	乙供本町・公園団地・空自団地
3月9日	木	
3月10日	金	
3月13日	月	上記の指定日に申告できなかった人
3月14日	火	
3月15日	水	

■申告相談送迎用バス時刻予定表

月 日	曜日	経 路 発着時間	経 路 発着時間	経 路 発着時間	経 路 発着時間
2月6日 2月7日 2月8日	月 火 水	千曳学供センター→コミセン 8:30 → 9:00	コミセン→千曳学供センター 12:10 → 12:40	千曳学供センター→コミセン 12:40 → 13:10	コミセン→千曳学供センター 16:10 → 16:40
2月9日	木	淋代学習センター→コミセン 8:20 → 9:00	コミセン→淋代学習センター 12:10 → 12:50	淋代学習センター→コミセン 12:50 → 13:30	コミセン→淋代学習センター 16:10 → 16:50
2月10日	金	美須々学習センター→コミセン 8:20 → 9:00	コミセン→美須々学習センター 12:10 → 12:50		
2月13日 2月14日	月 火	水喰学供センター→コミセン 8:30 → 9:00	コミセン→水喰学供センター 12:10 → 12:40	水喰学供センター→コミセン 12:40 → 13:10	コミセン→水喰学供センター 16:10 → 16:40
2月15日 2月16日 2月17日	水 木 金	甲地改善センター→コミセン 8:30 → 9:00	コミセン→甲地改善センター 12:10 → 12:40	甲地改善センター→コミセン 12:40 → 13:10	コミセン→甲地改善センター 16:10 → 16:40

●申告相談日程表については、本広報紙掲載のみとなりますので、必要な方は申告相談時まで保管願います。

お知らせ Information

平成17年分申告相談日程表〈上北地区〉

会場：東北町役場本庁(旧上北町役場) 3階大会議室

時間：午前 9:00～12:00
午後 1:00～4:00

月 日	曜日	午 前		午 後	
		地 区 名	(世帯番号)	地 区 名	(世帯番号)
2月6日	月	花向町(27)	(1～60)	花向町(27) 豊田・栄沼(21)・(28)	(61～)
2月7日	火	新 町(22)	(1～90)	新 町(22)	(91～200)
2月8日	水	新 町(22)	(201～350)	新 町(22)	(351～)
2月9日	木	栄 町(下)(29)	(1～200)	栄 町(下)(29) 栄 町(上)(30)	(201～) (131～)
2月10日	金	栄 町(上)(30)	(1～130)	旭 町(上)(25)	(61～)
2月13日	月	旭 町(上)(25)	(1～60)	旭 町(下)(26)	(71～200)
2月14日	火	旭 町(下)(26)	(1～70)	旭 町(下)(26)	(201～)
2月15日	水	上 野(上)(20)	(1～50)	上 野(上)(20)	(51～)
2月16日	木	上 野(下)(19)	(1～50)	上 野(下)(19)	(51～)
2月17日	金	上 野(南)(18)	(1～50)	上 野(南)(18)	(51～)
2月20日	月	新館・赤平(1)・(4)		八 幡(3)	
2月21日	火	戸 館(2)		大 浦(5)	(1～50)
2月22日	水	大 浦(5)	(101～)	大 浦(5)	(51～100)
2月23日	木	徳万才(6)	(101～)	徳万才(6)	(1～50)
2月24日	金	中岫平・才市田(7)・(8)		徳万才(6)	(51～100)
2月27日	月	大洞・境ノ沢(9)・(10)		小川原(北)(14)	
2月28日	火	小川原(南)(15)	(61～)	小川原(南)(15)	(1～60)
3月1日	水	沼崎本村(17)	虫 神(13)		
3月2日	木	菩提寺(12)		向 山(16)	
3月3日	金				
3月6日	月	新 山(11)	(1～50)	新 山(11)	(51～100)
3月7日	火	新 山(11)	(101～150)	新 山(11)	(151～)
3月8日	水	南 町(24)	(1～70)	南 町(24)	(71～200)
3月9日	木	南 町(24)	(201～350)	南 町(24)	(351～)
3月10日	金	本 町(23)	(1～130)	本 町(23)	(131～)
3月13日	月	上記の指定日に申告できなかった人			
3月14日	火				
3月15日	水				

- 上北地区の方で、平成17年3月31日以降に転入・転居・世帯分離した方は、それぞれの地区の割当日の の日が相談日です。
(例：旭町(下)の方で上記 _____ に該当する方は、2月14日の午後、新山の方で上記 _____ に該当する方は、3月7日の午後です。)



あなたの声を県政に! 県政モニター募集

県民の皆様から意見・要望などをお聞きし、施策の企画・立案の参考にするため県政モニターを募集しています。

◆**応募資格**—県内にお住まいの満20歳以上の方(議員、公務員、行政相談委員、国や地方公共団体のモニターになっている方や今後なる予定の方、平成13年度以降に県政モニターを経験した方は除く。)

◆**募集人員**—80名程度

◆**委嘱期間**—平成18年4月下旬からおよそ2年間

◆**仕事**—アンケートに対する回答(年4回位)

◆**応募方法**—必要事項を記入して、はがき、封書又はEメールでお申込ください。

◆**必要事項**—①郵便番号②氏名(ふりがな)③性別④生年月日⑤職業⑥電話番号⑦希望する理由⑧各種モニターの経験⑨あれば携帯電話以外のEメールアドレス

※必要事項はすべてお書きください。お預かりした個人情報 は厳重に管理し、県政モニター事務以外には利用しません。

◆**応募締切**—平成18年1月31日(火)(当日消印有効)

◆**結果通知**—応募者の中から地域・年齢・職業などを考慮して決定し、平成18年3月末までに全員に結果を通知します。

◆**その他**—1年ごとに記念品を贈呈します。

◎**お申込・お問合せ先**
青森県企画政策部政策調整

課広報広聴グループ県政モニター係(〒030-8570 青森市長島1丁目1-1)
TEL 017-734-9138(直通)
koho@pref.aomori.lg.jp

公立小川原湖青年の家 真冬の野外体験

◆**期日**—平成18年2月11日(土)～12日(日)1泊2日

受付:11日13:00～13:30

◆**場所**—小川原湖青年の家及びその周辺

◆**主な内容**—スキーハイキング(歩くスキー)

◆**募集人員**—一般50名(中学生以下引率者必要)

◆**参加費**—2,500円

※2月11日に大人対象の交流会を計画していますので希望者は受付時にお知らせください。なお、当日交流会費1,000円徴収します。

◆**持ち物**—スキー一式、防寒具、着替え、室内用ズック、洗面用具

※貸出用スキーもありますが、数・サイズに限りがありますので、お借りになる場合はお知らせください。

◆**その他**

①傷害保険等は自己加入願います。

②積雪状況で内容が変わる場合があります。

◆**申込方法**—2月6日(月)までに下記までお申込ください。(キャンセルは2月7日まで。8日以降のキャンセルは実費をいただきます。)

◎**お申込・お問合せ先**

公立小川原湖青年の家
〒039-2402上北郡東北町大字大浦字道ノ下104-6
TEL 0176-56-2393
FAX 0176-56-5042
o-seinen@smile.ocn.ne.jp



産業廃棄物税の 制度について

産業廃棄物税は、産業廃棄物の発生の抑制や再生利用等の費用に充てるため、最終処分場への産業廃棄物の搬入に対し、最終処分業者へ産業廃棄物の最終処分を委託した者及び自らその産業廃棄物の最終処分を行う者に課税します。

◆**課税の対象**—最終処分場への産業廃棄物の搬入

◆**納める人**

①最終処分を委託する場合—最終処分の委託者(排出事業者又は中間処理業者)

②自ら最終処分を行う場合—最終処分を行う者

◆**納める額**—産業廃棄物の重量1トンにつき1,000円

◆**申告と納税**

①最終処分を委託する場合—最終処分業者が特別徴収義務者となり、産業廃棄物の最終処分の委託をした者から産業廃棄物税を受け取り、毎月1か月分を取りまとめて翌月末までに、県税事務所に申告納入します。

②自ら最終処分を行う場合—自ら設置する最終処分場で最終処分をする事業者が、毎月の産業廃棄物の最終処分場への搬入量を取りまとめ、その搬入量に応じた税額を計算し、翌月末日までに、県税事務所に申告納付します。

◎**お問合せ先**—十和田県税事務所課税課

TEL 0176-22-8111(内線208)



平成17年度読書活動 推進県民大会開催

- ◆期日－平成18年1月28日(土)
- ◆会場－ぱ・る・るプラザ青森
(青森市:青森駅前)
- ◆対象－一般県民
- ◆内容
 - パネルディスカッション
「子どもの読書習慣を育むために」
 - 講演－作家高村薫
「晴子情歌・新リア王と青森」
 - 対談－高村薫VS三村知事
「自然・風土・人～青森の
味わい深さ」
- ◆参加申込方法
事前に申込が必要です。県内公立図書館に配布するチラシをご覧ください。
- ◎お問合せ先－青森県教育庁
生涯学習課
TEL 017-734-9889
FAX 017-734-8272
E-SHOGAI@pref.aomori.lg.jp

恒例！東北町上北地区

まける日

2月4日(土)・5日(日)

※4日(土)は町民バスが運行しています。

◎お問合せ先－上北町商工会 ☎56-2335

青森原燃テクノロジーセンター主催／東北町商工会後援

プロゴルファー中島常幸氏講演会

- ◆実施日－2月8日(水)18:30～20:00
- ◆場所－(株)青森原燃テクノロジーセンター(東北町乙供)
- ◆講演者－プロゴルファー 中島常幸氏
- ◆演題－ゴルフと共に歩む人生
- ◆内容
「運命的なゴルフとの出会い」「ゴルフを通して得たもの」「プロゴルファーの厳しさ」などについてご講演いただきます。
また、ゴルフのみならず、頑張っている皆さんへ中島さんよりエールが送られます。
- ◆定員－申込先着 160名
- ◆受講料－お1人 500円
- ◆お申込・お問合せ先
 - ▽青森原燃テクノロジーセンター
TEL0175-63-4671/FAX0175-63-4681
 - ▽東北町商工会
TEL0175-63-2329/FAX0175-63-2432

十和田エイト・ライン観光コース 体験バスツアー

- 「雪と光の幻想の世界へ。」今年も「十和田湖冬物語」の季節がやってまいりました。
あなたもこの冬の祭典に参加してみませんか？
- ◆日時－平成18年2月4日(土)
東北支所発:午後1:30(発)～午後11:00(着)予定
東北町役場発:午後1:50(発)～午後10:45(着)予定
 - ◆集合場所－「東北町役場」または「東北支所」
 - ◆行き先－称徳館(駒っこランド)及び十和田湖休屋
 - ◆定員－東北町民40名
 - ◆参加料－1人1,000円(入館料、保険料含)
 - ◆申込方法－電話にて受付(先着順)その後1週間以内に役場商工観光課まで参加料をご持参ください。
 - ◆申込期限－平成18年1月23日(月)
 - ◆お申込・お問合せ先－東北町役場商工観光課
TEL0176-56-4148(直通)/FAX0176-56-3589

Statistics
統計

町の人口《11月》

()は、昨年同期との比較増減。
※()内は1月からの累計

男……………10,170人〔△105人〕
女……………10,704人〔△117人〕
計……………20,874人〔△222人〕
世帯数 ……6,889戸〔 26戸〕
出生 ……14人 (115人)
死亡 ……25人 (241人)
転入 ……26人 (509人)
転出 ……41人 (610人)

町の交通事故《11月》

()内は1月からの累計

人身事故 ……9件(77件)
負傷者 ……13人(104人)
死亡 ……0人(4人)

町の火災《11月》

()内は1月からの累計

建物 ……0件(6件)
林野 ……0件(5件)
車両 ……0件(0件)
その他 ……0件(2件)

救急車出動件数《11月》

()内は1月からの累計
53件(505件)

中部上北消防本部

中央消防署 TEL 0176-62-3141

上北消防署 TEL 0176-56-2119

東北消防署 TEL 0175-63-2520

平成17年11月届出分

TOUHOKU
戸籍の窓

誕生

氏名	町名	保護者	氏名	町名	保護者
千葉 葵 ^{あおい}	(新山)	辰吾	上野 心 ^{こころ}	(館花)	清悦
向井 桜 ^{さくら}	(戸館)	勝一	清水目 凜 ^{りおん}	(下清水目)	義尚
坂本 楓 ^{ふう}	(虫神)	洋介	中野 未 ^み	(林口)	政嗣
林田 夢 ^{ゆき}	(野田頭)	修一	高橋 莉 ^{りお}	(向平)	英樹
服部 霧 ^{きり}	(内蛇沢)	伸也			

結婚

氏名	町名	氏名	町名
吹越 隆宏	(甲地)	岡山 浩仁	(御料)
長澤 美保子	(花向町)	鎌田 沙織	(六ヶ所村)
鶴ヶ崎 繁	(巴蘭)	深川 浩幸	(八戸市)
横沢 美香子	(新郷村)	中村 磨希子	(旭町)

お悔やみ

氏名	年齢	町名	氏名	年齢	町名
町屋 利勝	65	八幡	高田 貞一	80	外蛇沢
竹内 五郎	76	松風荘	向井 正義	32	外蛇沢
小笠原 かな	83	小川原	大橋 鉄四郎	81	豊ヶ丘
佐々木 松太郎	84	南町	山田 茂雄	55	内蛇沢
澤上 芳光	59	栄町	蛭名 ミチ子	77	豊瀬
竹内 カヨ	81	菩提寺	甲田 健太郎	90	松風荘
野田 豊吉	78	花向町	原田 由雄	87	表町
沼尾 さくら	70	旭町	十枝内 實	80	松風荘
佐々木 千友	67	新町	漆戸 昌登	84	保戸沢
田中 ユリ	87	新館	金見 廣志	69	旭町(上)
			久保 よね	71	石坂

あなたも参加 わたしもやります “交通安全”

県内の交通事故概況

(平成17年)

青森県交通対策協議会

	11月中	年累計	死者の 状態	飲酒運転による死者	
				8人 (-11)	
発生	780件 (+26)	7,528件 (-236)	シート ベルト	高齢者の死者 ~65歳以上の人~	39人 (-2)
死者	5人 (-2)	77人 (-21)		自動車乗車中の死者	40人 (-13)
傷者	992人 (+19)	9,485人 (-370)		非着用死者	17人 (-14)
				着用していれば 助かったと思われる人	7人 (-13)

※()内は前年比。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

毎月1日は県民交通安全の日

お知らせ Information

青森県産業別最低賃金改正のお知らせ

産 業	時間額	発 効 日
鉄 鋼 業	726円	平成17年12月21日
電気機械器具、情報通信 機械器具、電子部品・ デバイス製造業	669円	平成17年12月21日
各種商品小売業	664円	平成17年12月21日
自動車小売業	703円	平成17年12月21日

※上記の産業以外は青森県最低賃金(時間額608円)が適用されます。

※最低賃金に関するお問合せ先

青森県労働局賃金室 TEL 017-734-4114

又は最寄りの労働基準監督署まで

※詳細は、青森労働局のホームページ

(<http://www.aomori.plb.go.jp/>)でもご覧いただけます。

総合相談

1月16日・2月6日

- と き - 10時～12時
 - と ころ - 東北町役場本庁舎
2階休養室
- 相談員：人権擁護委員・行政
相談員
- ※詳しくは、役場総務課まで
お問い合わせください。

◆お詫びと訂正 - 広報とうほく
12月号P5 生き活きまつりのコー
ナーに誤りがありましたので、お
詫びして訂正します。

【誤】田中聖子(花向町)

【正】田中聖子(本町)

文芸ギヤラリ

あけぼの句会

屠蘇でなく子等はワインで乾杯す (チエ)

初芝居志功の緞帳今上がる (祥子)

知らぬ子の朝の挨拶初氷 (詔子)

父母の遺影ほのぼの初燈 (信女)

黙もくと冬菜畑の二人かな (テル女)

一杯のコーヒー熱く年明くる (節子)

冬温しシナモン入りの薬草茶 (和子)

佳きことのあるかも知れぬ冬の虹 (てる女)

亡き母の想ひに馳せる冬銀河 (アサエ)

都母短歌会

著き黄のマルメロふたつ玄関の

香の立つなかに客を迎ふる (松山悦子)

若き日に半身不随となりし君

詩画に出合ひ生きる道知る (乙供洋子)

空港のライトの明かりは道しるべ

旅の終わりにやきつく夜景 (上崎ツヤコ)

地鎮祭に無事を祈りて力込し

子が帰りゆき淋しさつのる (原子榛子)

点滅の光綾なすプロムナード

不況に挑む基地の三沢は (大池トシ)



長男[9か月] **宗磨くん**

パパ・島田 直樹 さん
ママ・ 郁美 さん

パパそっくりの宗くん。
人一倍元気に育ってね。



長男[4歳] **駿くん** 次男[1歳] **廉くん**

パパ・大坂 浩樹 さん
ママ・ 有希 さん

何よりも健康で思いやりのある子に
育ってください。



二人で一緒に
お口をア〜ン

ふれあいを通じて命の尊さを学ぶ 上北中で赤ちゃん抱っこスクール

上北中学校(廣野雅美校長)でこのほど、赤ちゃん抱っこスクールが行われ、同校の3年生の生徒99人が赤ちゃんとのふれあいを通して生命や性の尊さを学びました。

これは思春期の生徒たちに育児の喜びと大変さを知ってもらおうと町と同校が毎年実施しています。

生徒たちは、お腹に重りをつけて妊婦さんの大変さを体験したり、人形を使って抱っこの練習をしたりと事前準備をしてから赤ちゃんに対面。いつもと違う雰囲気泣き出す赤ちゃんをあやすのに戸惑いながらも、手づくりのおもちゃで遊んだりしながら次第にコツをつかみ、離乳食を食べさせるなどパパ・ママ気分を味わっていました。

あれれ?
泣いちゃった…



みんな赤ちゃんの仕草に興味津々

